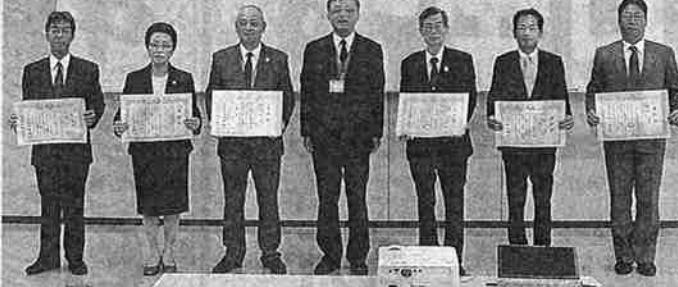


# さらなる品質向上に期待

## 優良建設工事で6社を表彰

—防府土建—

【防府】防府土木建築事務所(藤本拓男所長)は18



日、平成28年度山口県優良建設工事のうち同務所発注の6件について表彰式を行い、受賞企業の宇部興産機械技工団、熊野舗道工業、山陽建設工業、ジェイ・ロード、東谷の代表らが出席した。

表彰式では、宇部興産機械が施工した「主要県道山口宇部線Jランプ橋(仮称)橋りょう整備工事(上部工)」は、上部工設で床版打設時に長期で断続的に工事用車両が市道を占有する必要があり施工時の安全対策が課題だったが、地元周知の徹底や県、NEXCOが発

注する他工事との調整に尽力し、事故や地元からの苦情もなく工事通りに工事を終えていた。技工団施工の「主要県道山口宇部線道路改良工事5工区」では、市道直近の工事で上部工事の工事で上部工事に制限があつたため、施工中

路改良(0国)工事第20工区」では、施工範囲が広い中、それぞれの施工して交通安全対策に努め、工程も橋脚打設計画を綿密に検討し、事故なく工通りに工事を終えた。熊野舗道工業が施工した「主要県道山口宇部線道路改良工事第17工区」は、隣接工区が多く他工区との工程調整が課題だったが、隣接工区と施工個所が干渉しないよう上手く場内の工事を切り回し、綿密な工程管理により事故なく工事通りに工事をした。山陽建設

工業施工の「都市計画街路戎町迫戸線都市計画街路整備(防災安全)工事第1工区」では、車道舗装(基層)では現道の切り回しを伴う作業があり、施工中の安全対策が重要な課題だが、事前周知や安全対策を適切に行ない、事故や地元からの苦情もなく関連工事との調整にも積極性が見られた。また施工予定箇所に地下埋設物があり設置位置に大幅な見直しがあつたが、関係機関との協議により工事を実施した。ジェイ・ロードが施工した「主要県道山口宇部線道

の安全対策、工程管理に課題があつたが、自主的に市道部に土留柵を設置して交通安全対策に努めた。東谷施工の「主要県道山口宇部線道路防災工事第1工区」は、自動車専用道路の利用を確保しながらの施工で、施工時の安全対策が課題だったが、工事看板の小型化により現道への影響を最小に抑えることにより、事故なく工期内に工事を終えたーとそれぞれの受賞理由を説明したのち、藤本所長が1社ごとにその業績をたたえながら賞状を贈った。

表彰式後、藤本所長は「社会資本の整備は、基礎的な施設として重要な部分を占め、限られた予算・財源の中、県民からは品質が高く、長く使える施設が求められているが、今回表彰された六つの工事は県民の期待に応えられる施設。これまででも品質向上に努めてきたと思うが、表彰を受けた工事のノウハウや工夫、努力を社内で共有し、さらなる品質の向上に取り組んでもらいたい」と激励した。

表彰を受けた皆さん

防府土建

主な受賞企業

の安全対策、工程管理に課題があつたが、自主的に市道部に土留柵を設置して交通安全対策に努めた。東谷施工の「主要県道山口宇部線道路防災工事第1工区」は、自動車専用道路の利用を確保しながらの施工で、施工時の安全対策が課題だったが、工事看板の小型化により現道への影響を最小に抑えることにより、事故なく工期内に工事を終えたーとそれぞれの受賞理由を説明したのち、藤本所長が1社ごとにその業績をたたえながら賞状を贈った。

表彰式後、藤本所長は「社会資本の整備は、基礎的な施設として重要な部分を占め、限られた予算・財源の中、県民からは品質が高く、長く使える施設が求められているが、今回表彰された六つの工事は県民の期待に応えられる施設。これまででも品質向上に努めてきたと思うが、表彰を受けた工事のノウハウや工夫、努力を社内で共有し、さらなる品質の向上に取り組んでもらいたい」と激励した。